

リスクアセスメント実務研修会を開催

～ 労働災害防止対策を進めるために～

那覇労働基準監督署（署長 與那嶺茂良）では、増加傾向にある労働災害を減少させるため、平成26年2月4日にリスクアセスメント実務研修会を開催しました。

実務研修会においては、監督署担当者から業種ごとの労働災害発生状況を示した上で、業種ごとに作業の特性に応じた安全対策が重要であることを説明しました。

リスクアセスメントについては、職場にあるリスク（危険の芽）に予測される労働災害の大きさの見積もりの方法、リスク対策を講じる順番等について説明を行った後、グループに分かれて演習を実施しました。

那覇労働基準監督署では、今後もリスクアセスメント実務研修会等を開催し、有効な労働災害防止対策であるリスクアセスメントの普及拡大を図ることとしています。

リスクアセスメントとは、

職場にある様々なリスク（危険の芽）を見つけ出し、そのリスクにより起こることが予測される労働災害の重大さからリスクの大きさ見積り、大きいものから順に対策を講じていく手法です。

詳しくは、http://anzeninfo.mhlw.go.jp/risk/risk_index.html

安全講習会の風景

